

令和4年度

## 久留米工業大学 学生研修報告書

地元中小企業と久留米工業大学生をつなぐインターンシップ支援事業

# 社長のかばん持ち体験

～社長についてまわる2日間～



久留米工業大学  
KURUME INSTITUTE OF TECHNOLOGY



がんばるあなたを応援したい  
筑後信用金庫



## 目 次

---

研修受入企業名  
参加者氏名(所属学部学科)

### 株式会社 光栄建設

村井 雅楽 工学部 建築・設備工学科 …… 4

### 株式会社 九州栄電社

中山 涼太郎 工学部 交通機械工学科 …… 6

### 山の壽酒造株式会社

松原 優希奈 工学部 教育創造工学科 …… 8

### 株式会社 丸 信

上村 純也 工学部 機械システム工学科 …… 10

### 丸久鋼材株式会社

冨永 昂瑤 工学部 情報ネットワーク工学科 …… 12

### サクラみそ食品株式会社

新畑 希実 工学部 教育創造工学科 …… 14

---



学 長

今泉勝己

## ご 挨拶

久留米工業大学は1966年の建学以来、「人間味豊かな産業人の育成」を建学の精神とし、それを実現するため「知を磨き」「情を育み」「意を鍛える」ことを教育の基本理念としています。

昨年に続いて、今年度も筑後信用金庫様と2018年6月28日に締結しました包括的連携協定事業の一環として4回目の「社長のかばん持ち体験～社長について回る2日間～」を実施いたしました。なお、一昨年の本事業はコロナ禍により中止いたしました。

この体験事業は、単なる就業体験だけでなく企業のTOP(社長)と行動を共にし、経営者の日々の業務やお考えに触れると共に、地元で活躍される様々な企業を知り、自身の就業力の向上やキャリア形成に大いに参考になるものです。

8月に行われた事前研修では、社長との同行の際に実践できる名刺交換や挨拶などのビジネスマナーを受講した他、企業が求める人材像、地元中小企業の魅力についてお聴きする時間も頂きました。8月～9月に行われた地元企業での2日間の派遣実習では、材料仕入れや取引先訪問等への同行、社外での会議や社内ミーティング等を体験させて頂きました。

10月、11月に大学内で実施した中小企業診断士によるPower Point研修、プレゼンテーション練習会を経て本日の報告会を迎えています。参加した学生にとっても、このような場で報告(発表)を行う事は、緊張を伴うと共に大変有意義な経験になると思料します。

本学は県南部にある唯一の工業大学として、“工学技術で地域に貢献する大学”をビジョンとして、地域で活躍できる人材を育成し、地域の皆様と連携して、産業の活性化や産業創出のお手伝いをさせていただきたいと考えています。

この「社長のかばん持ち体験」が、これからも本学学生と地域の中小企業経営者の皆様にとって意義あるものとして継続していくことを願ひまして、大学からのご挨拶とさせていただきます。

最後に、この度の事業実施に際してご協力をいただきました皆様へ厚くお礼を申し上げます。





がんばるあなたを応援したい  
筑後信用金庫  
Chukuhin Bank

理事長

江口和規

## ご挨拶

皆様には、平素より格別のご厚情をいただき、厚く御礼申し上げます。

私ども信用金庫の仕事は、預金や融資等の金融業務だけではなく、地域に暮らし、事業を営む人々を支え、地域を繁栄させることで、地域経済、地域活性化に貢献することも大きな役割の一つでもあります。当筑後信用金庫は、大正13年創業以来98年にわたり、そうした使命感を持って、微力ではございますが、これまで様々な地域活性化活動に積極的に取り組んでまいりました。

そうした中で、久留米工業大学様とは、平成29年6月に包括連携協定を締結し、「社長のかばん持ち体験～社長について回る2日間～」の連携事業をスタートし、今回で4回目の取組みとなりました。

この「社長のかばん持ち体験」事業は、通常のインターンシップとは一線を画し、大学生に8月～9月の夏休みを利用して、2日間の「社長のかばん持ち」体験をしていただき、地域の中小企業経営者と直に触れ合うことで、素晴らしい中小企業の魅力を学び、様々な分野の人に会える機会を提供し、大学生自身の「キャリアデザイン」形成に役立ててもらい、地域で活躍する人材輩出のお手伝いをしたいという思いで開始しました。

久留米工業大学の学生さんには「社長のかばん持ち」体験を前に、8月に客室乗務員養成学校の協力を得て、一流のビジネスマナーを学んでいただく「事前準備研修」を受講してから臨んでいただきました。

事前研修では、「従業員は宝」であるとか、「中小企業と地域との密接な関係は魅力である」など、受講生にとって、地域の中小企業に関心を持つ「きっかけ」となったようです。

そして、「社長のかばん持ち」体験終了後の10月には、中小企業診断士を招聘し「パワーポイントによるプレゼンの肝」と題した研修を受講いただき、11月の「プレゼンテーション練習会」を経て、本日の「社長のかばん持ち体験『報告会』」に臨んでおります。

昨今、お取引をいただいている企業の皆様からは、「若者がなかなか入社してくれない」、「人材が不足している」というお声が多く聞こえてきます。今後わが国は人口減少がますます加速していくと予想される中、このような問題は地域の中小企業の存続を危ぶませる事態であると非常に懸念しております。

このような地域の課題に対し、当金庫は、こうした連携事業を通して、地域の大学生を中心とした若者に、「地域とは?」「中小企業とは?」、そして「経営者とは?」を問いかけ、少しでも地域と中小企業に魅力を感じてもらい、地域で活躍する人材輩出のお手伝いをすることで、地域課題の解決に、微力ながら貢献できればと考えております。

「社長のかばん持ち体験」が地域の中小企業経営者の皆さまと、地域の大学生の皆さま、この地域にお住まいの皆さまにとって、有益なものとなることを祈念して、私からのご挨拶とさせていただきます。

なお、本日に至るまで「社長のかばん持ち体験」の実施にあたりまして、受入企業を始めとする関係各位には多大なご協力を賜りました。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。また、今後も変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 「社長のかばん持ち体験」報告書



村井 雅楽

久留米工業大学工学部  
建築・設備工学科3年

実習企業：株式会社 光栄建設

代表取締役 田中 崇浩

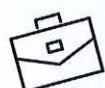
《趣味または現在取り組んでいること》

趣味は、音楽鑑賞、読書、旅行などです。現在は就職活動及び資格取得の勉強に励んでいます。

就活において自分の軸をしっかりと見定めるために、様々な業界の仕事に触れるよう意識しながら取り組んでいます。

### 「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目 (8/30)	○奉仕活動 ○朝礼 ○業務内容説明 ○古民家リフォーム現場見学
2日目 (8/31)	○奉仕活動 ○朝礼 ○モデルハウス見学 ○住宅設計案の打ち合わせに同行



～学校の授業では得られない貴重な体験に

感謝の気持ちでいっぱいです!～

### インターンシップ参加の目的

企業で活躍されている社長が経営者としてどのような心構えで行動してリーダーシップを発揮されているのかを、実際に同行する中で学びたいと考え参加しました。また、今回の社長のかばん持ち体験では、社会人のマナーやパワーポイントなど通常のインターンシップでは得ることのできない体験メニューもあり今後の就職活動に活かしたいと考えています。特にビジネスマナーに関しては、今後就職活動が本格的になる中で興味を持って取り組み、社会人として活かせる知識を身に着けたいです。





## 「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

### ◇1日目 令和4年8月30日(火)



入社してまず初めに奉仕活動を行いました。15分間という短い時間ではありましたが、毎日の日課として会社全体で行っているそうです。地域貢献の利点を知ることが出来ました。朝礼を終え、午前中は貴社の歴史や耐震事業等の説明をおこなって頂きました。貴社のブランドについて語る田中社長の姿を見て、施主の気持ちを第一に考える姿勢を強く感じました。午後は現在携わっている古民家のリフォーム現場に同行させて頂きました。実際の現場での説明は午前

中の耐震事業等の説明で得た知識を活かすことができ、納得しながら見学をすることが出来ました。また、実際に施主の方が立ち会いに来られ、施主さんと意見を交わす社長や社員の方々の様子も伺うことが出来ました。

### ◇2日目 令和4年8月31日(水)

前日同様15分間の奉仕活動と朝礼がありました。本日は主にモデルハウス見学と住宅設計案の打ち合わせがありました。

住宅のモデルハウスと、ペットショップの事務所のモデルハウスの2ヶ所同行しましたが、自社で設計したものであるからこそ、設計において大変だったことや注力したことなどを詳細に聞くことが出来貴重なお話を伺うことが出来ました。ペットショップの事務所はまだ設計途中段階でしたが、完成前の部屋などを見ることができ、大変有意義な経験となりました。午後は会社に戻り、社員の方々に交えた住宅設計案の打ち合わせに参加しました。

お客様の将来をサポートし、施主様の希望に見合ったライフスタイルを形にする事の難しさを実感しました。



### ◇まとめと感想

2日間という短い期間でしたが、とても貴重で有意義な時間を過ごすことが出来ました。研修を通じて、「利己的に考えない」ということを田中社長に同行し学びました。「自社の課題解決を最優先に行動するのではなく、快適な暮らしを提供するためのビジョンを施主様に浸透していくこと」が、社長としての責務であり、それを実践されている事がこの2日間とても伝わってきました。今回の経験を糧に、今後の自己活動に努めていきます。株式会社光栄建設様の田中社長をはじめとする社員の皆様、今回の体験を提供させて頂きました筑後信用金庫様、久留米工業大学の就職課の方々、誠にありがとうございました。



## 「社長のかばん持ち体験」報告書



中山 涼太郎

久留米工業大学工学部  
交通機械工学科2年

実習企業：株式会社 九州栄電社

代表取締役 飯笹 学

《趣味または現在取り組んでいること》

私が現在取り組んでいることは、アパレル販売でのアルバイトです。業務内容は接客が多くコミュニケーション能力が必要不可欠ですが、私はアルバイトを通して、「人の話をよく聞くこと」と「わかりやすく伝えること」を心がけ、コミュニケーション能力を高めるために努めています。

### 「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目 (9/15)	○社長挨拶 ○社長の行動をチェック ○株式会社栄電舎、社長とのミーティング ○工場見学 ○CAD体験
2日目 (9/16)	○朝礼 ○CAD体験 ○会議の見学 ○三光設備株式会社の九州支店長とのミーティング



～学校の授業では得られない貴重な体験でした

対応していただいた皆さん!ありがとうございました～

### インターンシップ参加の目的

社長のかばん持ち体験を通して、企業の経営者または経営幹部の方と行動を共にし、企業トップの方の行動や考え方に触れ、この体験をもとに将来のキャリアデザインの形成に役立てることを目的に参加しました。特に社長として職場環境をどのように考え、社員の方にどのように向き合っているのかを学びたいと思いました。

さらに、社員の方は日々の業務を通しどこにやりがいを感じているのかなども学べたらと考えています。





## 「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

### ◇1日目 令和4年9月15日(木)

飯笹社長と共に株式会社栄電舎を訪問し、呉社長とのミーティングに参加しました。呉社長から社長としての大事な考え方や、大切にしている4つの言葉を教えていただきました。それは、自己管理、責任、勉強欲、包容力です。その中でも責任が一番重要で次に勉強欲、リーダーになるために必要な包容力を学びました。また、社長とは社員に支えられているから成り立つのであって、自分が偉くなったと勘違いしない事と言うお話を聞き、社長であっても謙虚に生きることが大切であることを教えていただきました。また、岩崎部長と久光製薬鳥栖工場でのミーティングに同席し、実際の仕事の現場を見学しました。

初日の体験で、自分が社会人になった時のイメージが何となく想像できました。



### ◇2日目 令和4年9月16日(金)



2日目は社内でのミーティングに参加しました。ミーティングでは、仕事上の問題点などが挙げられ、それに対し皆さんから活発な意見が出されていました。そして、チームワークの必要性を強く感じました。ミーティングでは社員全員で改善点などが提案され、有意義に会議が進められました。その後、岩崎部長と三光設備株式会社を訪問し九州支店長と面会しました。三光設備株式会社の業務内容や業績について伺い、より良い社会を作るためには会社同士、人と人が手を取り合って協力する大切さを感じ取れました。

### ◇まとめと感想

今回、社長として、経営者の辛さや大変さ、そして、事業を拡張していく中での厳しさを学ぶことができました。特に、飯笹社長がお話しされた「孤立と孤独は違う、大きな決断をする際には孤独と戦わなければいけないが孤立してはいけない」と言うお言葉が印象に残りました。私自身、改めて考えると、家族や友人を大事にできていない部分があるので、飯笹社長の考え方を見習い、人との繋がりを大切にしていこうと強く思いました。2日間と短い間でしたが大変お世話になりました。ありがとうございます。





## 「社長のかばん持ち体験」報告書



松原 優希奈

久留米工業大学工学部  
教育創造工学科2年

実習企業：山の壽酒造株式会社

代表取締役 片山 郁代

《趣味または現在取り組んでいること》

私は楽器演奏が趣味です。現在大学の吹奏楽サークルに所属し、演奏会出場を目標に、日々練習に励んでいます。

大学での取り組みとして、「AI 活用演習」の選抜クラスに所属し、教育委員会と共同で街を活性化させるようなアプリケーションの開発をしています。

### 「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目 (9/16)	○取引先企業との面談 ○事務所での電話対応 ○社内会議への参加
2日目 (9/29)	○取材の打ち合わせ ○取引先企業との打ち合わせ ○筑後信用金庫訪問 ○事務所での電話対応 ○社内会議への参加



～相手を思いやる経営者としての

コミュニケーション力に感動しました～

### インターンシップ参加の目的

今回のインターンシップを通し、経営者としてのリーダーシップと経営者に求められるコミュニケーションスキルを学びたいと考えています。

私は教員になることを目指していますが、教員はクラスの経営者と同じなので学級経営の参考になると考えたからです。

2日間、社長に同行し社長のリーダーシップや従業員への指示の仕方、仕事での接し方を拝見することで、今後、教員を希望する私にどのようなコミュニケーションスキルや人間性が必要になるのかを学びたいと思い志望しました。



## 「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

### ◇1日目 令和4年9月16日(金)



映像関連の会社の社長との面談に同行しました。先方の社長から「自分のやりたいことを実現するには、総理大臣にも面談をお願いする」というお話を聞き、その決断力と行動力に圧倒されました。先方の社長から「夢を実現するためには、先ず行動を!」と言われたことが印象に残り、自分が目指していることを夢で終わらせないようにしたいと感じました。私はこの面談の中で意見などを聞かれてもしっかりとした回答ができず、反省しました。会社に帰る途中、片山社長から「自分がこの中に入るなら、何ができるのか、何をすべきか、何がやりたいのかを考えながら話を聞くといい」というアドバイスをいただきました。人の話をただ聞くだけではなく、自分にどのように活かすのかを考えながら話を聞いていこうと強く感じました。

### ◇2日目 令和4年9月29日(木)

2日目は、お酒の品質に関することや輸出関係、ラベルのデザインなど様々な打ち合わせを行いました。打ち合わせに関しては資料の横に手書きでメモをされているのを拝見し、会議に臨む準備の大切さを実感しました。また、打ち合わせでは核心部分の話合いが終わると雑談的な部分を取り入れ、メリハリのある打合せに参加し大変勉強になりました。



さらに他企業との話の中で「60歳まで働くとして、今の年齢を考えるとお酒造りはあと10回ほどしかできない」という社長の言葉に、1年、1年を大切に働いていることを強く感じ、私が社会人として働くときも社長のように毎日をそして1年1年を大切に計画性をもって働きたいと思いました。

### ◇まとめと感想

「社長のかばん持ち体験」の2日間を通して、経営者としてのコミュニケーションスキルについて学ぶことができました。経営者として相手のことを考え、様々な話題を織り交ぜながらコミュニケーションを取られている姿に感動しました。将来働くとき、相手の気持ちを受け止めながらコミュニケーションを取りたいと思いました。

このような貴重な体験させていただきました貴社をはじめ関係者の皆様のご尽力に感謝するとともにこの経験を今後の学校生活や将来の夢に向けた勉強に活かしていきたいと考えています。

ありがとうございました。





## 「社長のかばん持ち体験」報告書



上村 純也

久留米工業大学工学部  
機械システム工学科3年

実習企業：株式会社 丸 信

代表取締役 平木 洋二

《趣味または現在取り組んでいること》

趣味は映画鑑賞です。私はよく映画館に足を運びます。映画ならではの迫力や演出に引き込まれてしまうところが魅力です。

また、私が現在取り組んでいるのは企業研究です。秋から本格的に始まる就職活動を目標に、業界や職種を調べ企業研究に取り組んでいます。

### 「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目 (9/13)	○WEB会議 ○工場見学 ○シール製作の見学 ○包装機器や商品の見学 ○商談の見学 ○入社面接の様子
2日目 (9/14)	○WEB会議 ○テレビの取材 ○インタビュー ○商談の見学 ○SPIとアドバイス



～経営者としての知識や考え方、

責任感に感銘を受けました!～

### インターンシップ参加の目的

今回私がインターンシップに参加した目的は、社長の1日の業務スケジュールや、社長と社員との仕事の違い、経営者としての役割を学ぶことです。今回の体験は普通の就業体験のインターンシップとは全く違い、企業の最高責任者である社長に同行できる点に大変興味をもちました。

そして、この体験を通し経営者の方の考え方などの理解を深め、更に事前研修やパワーポイント研修、報告会などの貴重な体験を通し学んだことを、これからの就職活動に活かしたいと考えています。



## 「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

### ◇1日目 令和4年9月13日(火)

1日目の朝は社内のWEB会議に参加しました。会議では、売り上げを伸ばすための提案事項や、お客様のクレームに対する対応策などについての話し合いが行われ、社長が的確に判断をされ指示をされました。会議では議案を一つずつスピード感をもって効率よく進めていかれ、会議の進め方を勉強する良い機会となりました。その後、工場施設内を社長に説明していただきながら見学しました。

包装資材の製作、販売を中心に事業を展開され、商品の中には私がよく目にする製品のパッケージやラベル等、多く手掛けられているところに大変興味を持ちました。

午後からは会議のため信用金庫へ同行しました。ここでは社長のお話を聞くことができ、経営の難しさや大変さを勉強することができました。



### ◇2日目 令和4年9月14日(水)



2日目は久留米のテレビ局からの取材があり、今回の「社長のかばん持ち体験」の様子や、工場内で社長から説明を受けている私の様子を撮影されました。この取材後、少し時間が空いたので、社長が大切にしている言葉の動画を見せて頂きました。それはIPS細胞研究所の山中伸弥教授の「人間万事塞翁が馬」という中国の故事が由来となっていることわざで、「一時の幸不幸で右往左往せずどしどし構えておく」という意味ですが、これを聞いて、社長が大切にしている意味が何となく理解できました。私もこの言葉に感銘を受け大切にしようと思いました。

最後にSPIを受けさせて頂き、自分に足りていないものや、何を高めていけば良いのかアドバイスを頂き「社長のかばん持ち体験」が終了しました。

### ◇まとめと感想

実際に社長に同行させていただき、業務内容や現場の様子、会議等を見学させていただき、経営者の責任の重大さに合わせて、決断力・判断力が必要とされることを痛切に感じました。また、会社経営というのがどれほど大変で難しいものなのかを学んだと同時に、経営者に対する関心が深まったことと、これから就職活動を始める私にとって、経営者目線というものが大切なことを学びました。

今回、このような機会を体験することができ関係者の皆様に深く感謝いたしますとともに、経営者の考え方を学ぶよい機会となりました。

ありがとうございました。





## 「社長のかばん持ち体験」報告書



富永 昂瑠

久留米工業大学工学部  
情報ネットワーク工学科3年

実習企業：丸久鋼材株式会社

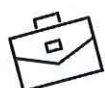
代表取締役社長 待鳥 寿

《趣味または現在取り組んでいること》

私の趣味は空手と書道です。小学校 1 年生の頃から空手と書道を始め、今は空手を週に3-4日、書道を週に1-2日ほどを継続して行っています。現在も自分自身を心身ともに鍛えており、これからも上昇志向で挑戦していきます。

### 「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目 (8/23)	○準備体操 ○会社説明 ○本社工場見学 ○唐津営業所と伊万里工場見学 ○唐津営業所でのエコー電子会議(定例会)
2日目 (8/24)	○客先訪問(鳥丸鉄工株式会社) ○北野工場見学・訪問 ○株式会社ファブコン九州訪問・見学 ○JFE商事鉄鋼建材株式会社訪問



～様々な出会い、経験をさせて頂き

本当にありがとうございました!～

### インターンシップ参加の目的

私が今回の「社長のかばん持ち体験」に参加する目的は社長という経営者としての立場で、どのようなことを考え行動されているのかを学びたいと思ったからです。私たちは経営者の方がどんなふうに会社経営をしているのか想像もつきません。通常のインターンシップでは働いている方の目線で企業を見るため、この貴重な2日間で、社長の朝から業務終了までの行動や、社員の方へどんなことを求められるのかしっかりと学び、この経験が今後の就職活動の中で活かされるよう頑張ります。また、鉄鋼業界は私が目指すIT業界とは異なりますが、業界研究として学びたいと思います。



## 「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

### ◇1日目 令和4年8月23日(火)

朝は社員の方と一緒にラジオ体操からスタートしました。その後、社長から会社の説明をうかがいました。社長からは経営者として、社員に対して無理をさせずにモチベーションを維持させるために、職場環境や福利厚生面等に配慮し社員との一体感を目指し、常に社員のことを気遣っている姿を感じました。また、これまで取引先企業には社長が積極的に訪問し信頼構築に力を注ぎ多くの企業から選ばれ仕事を任されていることをお伺いしました。社長は、「信頼を得てこそ企業として成り立つ」と言われ、社員に対しても、企業に対してもその言葉通り実践されていると感じました。私も社会人になった際、この言葉を思い出し、周囲から信頼を得られる人材になりたいと思いました。



### ◇2日目 令和4年8月24日(水)



2日目は、取引先を訪問し、移動中に社長からいろいろな話を聞くことができました。丸久鋼材株式会社は、久留米を中心とし福岡・大分・熊本など九州北部の企業との取引が多いことを御説明していただきました。また社長から「北野工場を地方から絶対に必要とされる、必要不可欠な工場にしたい」という夢も伺いました。社長は今に満足せず、経営者としてさらに飛躍を追求され、目標を常に高く持ち行動されていることを改めて感じました。また、訪問先のJFE商事鉄鋼建材株式会社の

支店長とお会いし、お話をしている姿を拝見し、話題が豊富なことに驚きました。

今回の2日間は、待鳥社長の仕事の大変さとそれを苦にせずにお仕事されている姿に感動した2日間でした。

### ◇まとめと感想

社長のかばん持ち体験を2日間通して、社長の目線や考え方、想い、夢を知ることが出来ました。

体験を通し待鳥社長の人柄や行動、考え方などを吸収し、私も待鳥社長のような素晴らしい人間になりたいと思いました。

貴重な体験をさせて頂いた丸久鋼材株式会社様はじめ筑後信用金庫様、久留米工業大学の今回関りにある方々皆様への感謝の気持ちを忘れずに、これらの経験を就職活動へと活かしていきます。

ありがとうございました。





## 「社長のかばん持ち体験」報告書



新畑 希実

久留米工業大学工学部  
教育創造工学科3年

実習企業：サクラみそ食品株式会社

代表取締役社長 野田 豊國

《趣味または現在取り組んでいること》

趣味は、気分転換に行うランニングです。私は、サークル活動として学生防犯ボランティアに所属しています。夜間のパトロールやサイバーパトロールなど、地域住民の方々と連携して防犯活動に取り組んでいます。

### 「社長のかばん持ち体験」2日間のスケジュール

1日目 (9/8)	○朝礼 ○ミーティングに参加 ○会社説明 ○取引先訪問 ○天ぶら油分析実験
2日目 (9/9)	○朝礼 ○天ぶら工場での体験 ○みそ工場での体験



～人とのつながりの大切さを学びました。

ありがとうございました～

### インターンシップ参加の目的

今回の「社長のかばん持ち体験」では、通常の職場体験では学べないような経営者の立場での考え方やふるまい方を学ぶことができると思い参加することを決めました。私は、現在学生防犯ボランティアサークルの代表を務めていますが、リーダーとしてどのように行動すれば良いかわからずにいました。今回の体験を通して経営者である社長の考え方や行動、統率の取り方を学ばせていただきたいと思います。



## 「社長のかばん持ち体験」2日間の実習内容

### ◇1日目 令和4年9月8日(木)

入社した時の、社員さん同士での挨拶や雰囲気がとてもよくて改めて挨拶の素晴らしさに気づきました。

野田社長が「多方面に向けて販路を作っておくことが大事」と言われていた言葉がとても心に残りました。販路を作るために日本全国を飛び回ったというお話を聞き、何ができるか、何をすべきかを自ら考え行動を起こしておくことで不測の事態が起こった時に最小限で乗り越えられる為の行動ではないかと思い、社長の考え方、行動にとっても感銘を受けました。

お話の中で現在、みその消費量が下がってきていることを聞き、私たちの食卓にはなくてはならない地域の味として、そういった意味でも地域に根差した中小企業が必要になってくるのだと思いました。

### ◇2日目 令和4年9月9日(金)



工場での体験で「生産から販売まで自社で行う」ということを身をもって体験することができました。

みそ工場では、お客様が「求めているものは何か」を第一に考え商品の外からの見栄えを大切にされ、天ぶら工場ではえびの選別の徹底や、包装レーンで個包装に天かすが挟まっているものはもう一度包装するなど、妥協のない高い品質管理が行われていました。私は、野田社長から一つ一つ説明を受け、「私たちの口に入っても安全なものを生産する」ということを社員全員に徹底し、同じ志をもって作業されている姿に感動しました。何より野田社長の経営者としての考え方や、人との繋がりの大切さについても学べる機会となりました。

みそ工場では、お客様が「求めているものは何か」を第一に考え商品の外からの見栄えを大切にされ、天ぶら工場ではえびの選別の徹底や、

### ◇まとめと感想

この二日間、野田社長自らもお客様の需要に合った安全で信頼できる製品作りに取り組まれ、繋がりも大切にして経営に就かれていること、何気ない繋がりがのちに大きなものとなって返ってくるとわかりました。将来、教員になった時に生徒、その保護者、地域の方々など様々な繋がりが生まれると思います。こうしたときに、今回の「社長のかばん持ち体験」をおし、人との出会いを大切にできる人になりたいと強く感じました。

この度は、このような体験を企画していただいた筑後信用金庫様、2日間本当に素晴らしい貴重な体験をさせていただいたサクラみそ食品株式会社の野田社長様をはじめ社員の皆様に心より感謝申し上げます。







